

一周時間を求めるための計算並びにデ - タ

	[I] (片道急行)		[] (片道区間急行)		[] (全階自由)		[] (往復区間急行)	
	S L	S E	/ \	S E	S L	/ \	S E	
エレベ - タ - のサ - ビス形式	S L	S E	/ \	S E	S L	/ \	S E	
エレベ - タ速度	m / s	V			1.50			
エレベ - タ乗客数	人	r			昇り方向 3.0	降り方向 2.0	昇り方向 降り方向	
口 - カル区間内サ - ビス階数 (始発階を除く)	n				11	11		
口 - カル区間内予想停止数	f L				2.74	1.91		
急行区間停止数	f E				0	0		
全予想停止数	F				4.65	4.65		
口 - カル運転 1 平均走行距離	m	S			12.4	17.8		
走行時間	S < 2 S a の場合	s			0.0	0.0		
口 - カル区間急行区間	S 2 S a の場合	s	T r		28.7	26.9		
戸開閉時間	s	T d			21.9			
乗客出入時間	s	T p			15.00			
損失時間	s	T i			3.7			
一周時間	s	R T T			96.2			
5分間輸送人数 (1台当り)	人				16			

1. 階間交通がある場合は上表は適用できない。
2. サービス形式 [I]、[] においては、降り方向の交通は昇り方向の逆の現象であるとし、予想停止数の計算は昇り降りとも同じ式にしてよい。
3. S a : 加速距離 (m) 表 8 - 4 による t a : 加速時間 (s) 表 8 - 4 による。
t r : 口 - カル区間走行時間 (s) 図 8 - 3 による t d : 戸開閉合計時間 (s) 表 8 - 5 による。

一周時間を求めるための計算並びにデ - タ

	[I] (片道急行)		[] (片道区間急行)		[] (全階自由)		[] (往復区間急行)	
	S L	S E	/ \	S E	S L	/ \	S E	\ /
エレベ - タ - のサ - ビス形式	S L	S E	/ \	S E	S L	/ \	S E	\ /
エレベ - タ速度	m / s	V			1.50			
エレベ - タ乗客数	人	r			昇り方向 3.0	降り方向 2.0	昇り方向	降り方向
口 - カル区間内サ - ビス階数 (始発階を除く)	n				11	11		
口 - カル区間内予想停止数	f L				2.74	1.91		
急行区間停止数	f E				0	0		
全予想停止数	F				4.65	4.65		
口 - カル運転 1 平均走行距離	m	S			12.4	17.8		
走行時間	S < 2 S a の場合	s			0.0	0.0		
口 - カル区間急行区間	S 2 S a の場合	s	T r		28.7	26.9		
戸開閉時間	s	T d			21.9			
乗客出入時間	s	T p			15.00			
損失時間	s	T i			3.7			
一周時間	s	R T T			96.2			
5分間輸送人数 (1台当り)	人				16			

1. 階間交通がある場合は上表は適用できない。
2. サービス形式 [I]、[] においては、降り方向の交通は昇り方向の逆の現象であるとし、予想停止数の計算は昇り降りとも同じ式にしてよい。
3. S a : 加速距離 (m) 表 8 - 4 による t a : 加速時間 (s) 表 8 - 4 による。
t r : 口 - カル区間走行時間 (s) 図 8 - 3 による t d : 戸開閉合計時間 (s) 表 8 - 5 による。

C V C / E V 計算表

バンク名称		C棟	D棟
号機名称		C - 1	D - 1
速度制御方式		制御無し	制御無し
積載荷重 L	k g	600	600
定員	人	9	9
乗客数	人(A)	5.0	5.0
定格速度 V	m / min (m / s)	90(1.5)	90(1.5)
台数 N	台(B)	1	1
出入口形式	(出入口幅 mm)	二枚片引き戸 (800)	二枚片引き戸 (800)
サ - ビス階	階 ~ 階	1 - 12	1 - 12
エレベ - タ - 利用人口	人(C)	754	754
一周時間	s (D)	96.2	96.2
平均運転間隔	s (E) (D)/(B)	96.2	96.2
速度制御方式による係数 F T	(F)	1/ 40	1/ 40
同上 F s	(G)	1/ 40	1/ 40
5分間輸送人数 (全台当たり)	人(H) 300・ (A)・ (B)/(D)	16	16
標準輸送能力 A 1	(I)	0.15	0.15
計画輸送能力 A 2	(J) (H)/(C)	0.02	0.02
輸送能力係数 M	(K) (I)/(J)	7.50	7.50
年間運転時間 T	時間	2000.0	2000.0
1次エネルギー - 換算値	k J / k w h	9760.0	9760.0
エレベ - タ - 消費電力量 (1)	k W h / (年 ・ バンク)	3.140E+03	3.140E+03
エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計 (2)	M J / 年	6.128E+01	
仮想エレベ - タ - 消費電力量 (3)	k W h / (年 ・ バンク)	3.140E+03	3.140E+03
仮想エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計 (4)	M J / 年	4.596E+02	
C E C / E V =	エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計 仮想エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計	0.13	

1 : エレベータ消費電力量 = (L × V × F T × T × N) / 8 6 0

2 : エレベータ消費エネルギー - 量 = (エレベータ消費電力量) × (一次エネルギー - 換算値)

3 : 仮想エレベータ消費電力量 = (L × V × F s × T × N) / 8 6 0

4 : 仮想エレベータ消費エネルギー - 量の合計 = (仮想エレベータ消費電力量) × M × (一次エネルギー - 換算値)

注 1) エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計と仮想エレベ - タ - 消費エネルギー - 量の合計の単位は、(M J / 年) となっているので、転記に注意すること。

注 2) 本計算書は標準的な様式であり、入力項目 (バンク数等) が異なる場合は、仕様内容に合わせて構成のこと。